

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

群馬中央第二周辺地区

平成31年3月

群馬県高崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	生活環境の充実	%	45.0	65.0	66.5	確定 ●	○	あり ●	71.1	H30年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・区画整理事業の進展や中央幹線(西毛広域幹線道路)がH30年3月に暫定整備されたことにより、都市基盤施設が充実し、地域住民が安心安全で住みやすい住環境を実感している。
指標2	治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減	%	48.0	36.0	40.5	確定 ●	△	あり ●	41.8	H30年9月	△	・区画整理事業により側溝等の整備が進み、地区内被害の一定の改善は見られるものの、未整備地域があること、また近年多発している激甚災害の状況を憂慮し、不安度が改善しきれていないものと推察される。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・区画整理事業による系統的な排水施設の整備を進めるとともに、関係部署との連携を図り、冠水箇所の解消を目指す必要がある。 ・治水(自然)災害対策の根幹である調整池本体が未整備のため、流出側水路を含めた早期整備を図り、不安感情の根本的解決が必要である。
指標3	地域防災に対する意識の向上	%	49.0	75.0	78.3	確定 ●	○	あり ●	87.0	H30年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・防災をメインテーマとした「中央第二地区安全安心まちづくりの会」の継続開催により、地域の防災意識が向上した。今後は地域主役の開催を期待する。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性を活かした道路網の整備を進める。</li> </ul>	区画整理事業による都市計画道路・区画道路の整備を継続し、道路網のさらなる充実を図った。	旧来の道筋を活かした道路網であるため、地域生活への順応性が高く、円滑な生活再建が可能となった。このことにより、地域住民の住環境に対する満足度が向上した。	部分的に整備済みとなった都市計画道路や区画道路に地区外からの通過交通車両が流入し、朝夕で渋滞が散発している。新規整備の区画道路と旧道(未整備区間)との取り合いが不一致のところもあり、渋滞が発生しているところにも出会い頭の事故も懸念されている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や地域の個性を活かすことを目的としたまちづくりルールの制定を目指す。</li> </ul>	「中央第二地区安全安心まちづくりの会」の継続開催を行い、まちづくりルールの啓発を行うとともに、一部の地区住民に対してまちづくりルールの制定について、アンケートを実施した。	地域の安全をテーマとしたアンケートの結果、まちづくりルールの認知度(約54%)、まちづくりルールの策定についての賛否(賛成 約53%)等、住民への一定の浸透が確認された。	まちづくりルールの策定の賛否について、「どちらともいえない」との回答数が半数近い(約40%)のため、今後の情報伝達・学習等を行うことにより、安全を目的としたまちづくりルール策定への積極的な賛同を得られるような意識作りが必要である。
<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨時の冠水箇所の解消を図る。</li> </ul>	区画整理事業により道路及び側溝網・雨水幹線を整備し、系統的な排水ルートを一部構築した。	排水ルートの整備により、一部地域では冠水の解消が見られた。	未整備の冠水箇所について、区画整理事業による道路及び側溝網・雨水路の整備を継続する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水調整池の早期整備を図る。</li> </ul>	買収対象地権者との対話を行い、調整池整備予定地の一部買収を実施した。	-	調整池整備予定地の未買収地の解消、雨水流出管の整備を実施し、調整池整備事業の推進を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災の活動(避難)拠点の整備を図る。</li> </ul>	-	-	区画整理事業による公園予定地の整備を継続しつつ、日常的なコミュニティ規模を対象として、地域防災設備を備えた「いっとき集合場所」の計画的な整備を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理地区内の交通渋滞や歩行者を巻き込んだ交通事故の危険性低減を図る。</li> </ul>	車両用信号機、通学路ルート上への押しボタン式信号機の設置、交差点付近照明設備の整備を実施した。	幹線道路・都市計画道路の安全な交通の実現、交通渋滞の緩和が促進され、通学路上の安全な横断歩行ルートが整えられた。	区画整理地区内において、日常生活上の主要ルートを安全安心歩行ルートとして位置づけ、歩道の整備や案内看板、ミラーの設置など、歩行環境整備事業を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項